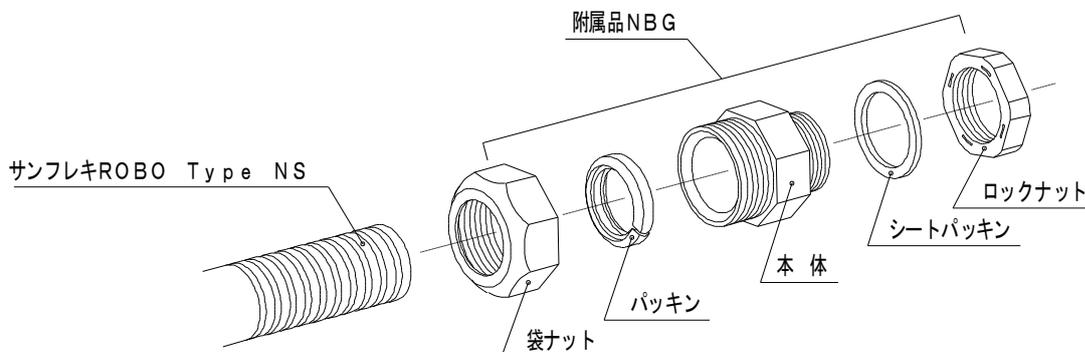


サンフレキ ROBO Type NS と NBG コネクタシリーズの施工は下記の要領で行って下さい。

1. サンフレキ ROBO Type NS, 附属品 NBG 部品構成



2. サンフレキ ROBO を必要な長さに切断します。

☆ 切断は、カッターナイフ等をご使用下さい。

☆ 切断は、サンフレキ ROBO の構部に沿って、なるべく垂直に行って下さい。

3. 本体をボックス、機器等に取り付けます。

☆ ボックスのノックアウトに接続する場合は、防水のためのシートパッキンを介してロックナットで確実に固定して下さい。

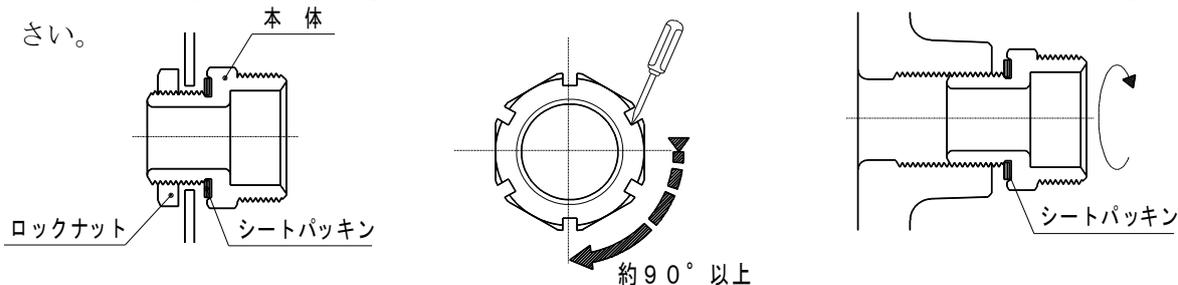
☆ Pg ネジはロックナットの勘合が渋めです。盤に取り付ける際は、ロックナットが盤に接するまで指 3 本の力でねじ込んでから、工具で増し締めしてください。(ロックナットの斜め勘合防止)

☆ ロックナットの締め付けは、モーターレンチ等を用いて行い、ロックナットからモーターレンチが滑るまで行って下さい。

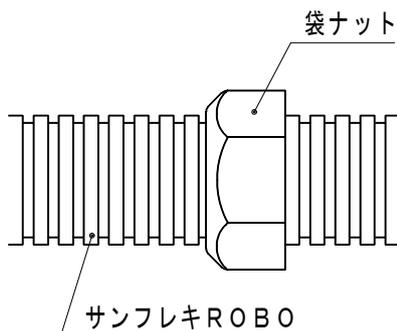
プライヤーを使用する場合は締め付け後、コネクタ側を手で持ってねじっても、動かない程度まで締め付けて下さい。(手締め後、約 1/4 回転程度が目安です。)

☆ ロックナットをモーターレンチで締め付けられないような狭い場所においては、ロックナットの凹部に⊖ドライバーを当ててハンマーでたたきながらロックナットを締め付けて下さい。

☆ 機器のハブに接続する場合も、防水のためのシートパッキンを介して本体をハブにねじ込んで下さい。



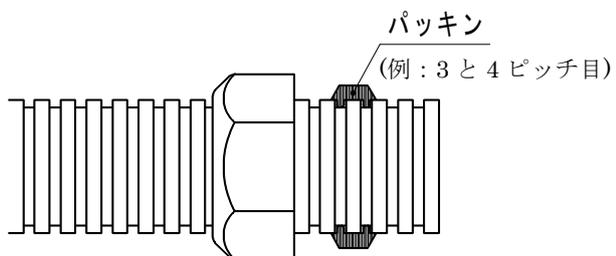
4. サンプルレキ ROBO に袋ナットを入れます。



5. サンプルレキ ROBO にパッキンを取り付けます。

☆ サンプルレキ ROBO の管端から次表に示す位置にパッキンを取り付けて下さい。

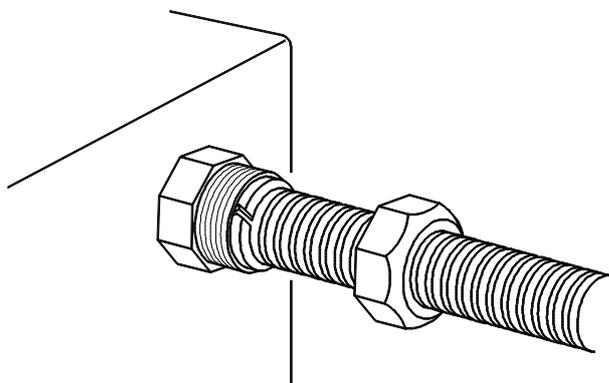
☆ パッキンには方向はありません。



呼び	パッキン取り付け位置	
	Type NS	Type NP 及び NF
12	管端より 3 と 4 ピッチ目	管端より 4 と 5 ピッチ目
16		
20		
25	管端より 4 と 5 ピッチ目	管端より 5 と 6 ピッチ目
32		
40		
50		
63		

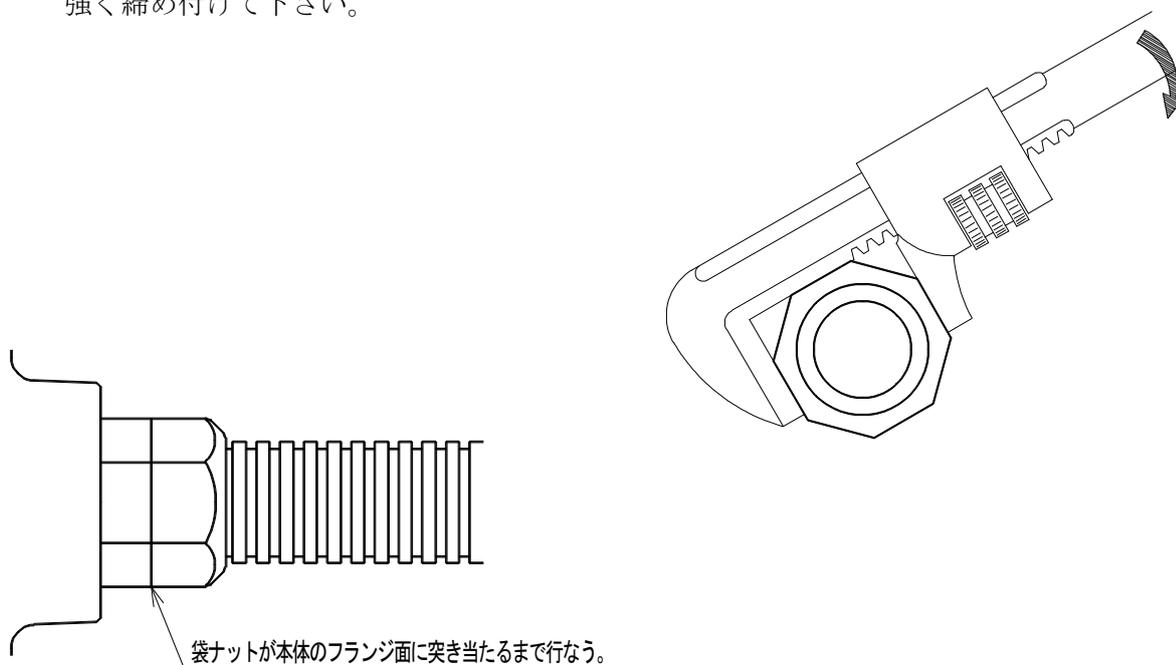
6. 本体にサンプルレキを仮止めします。

☆ あらかじめボックス、機器等に取り付けた本体に、パッキンを取り付けたサンプルレキ ROBO を挿入し、袋ナットを本体に手でねじ込み、仮止めして下さい。



7. 袋ナットを本締めします。

- ☆ 袋ナットの締め付けには、#50 まではモーターレンチ、#63 はチェーンツングを用いて下さい。
- ☆ 袋ナットの締め付けは、袋ナットが本体のフランジ面に突き当たるまで締め付けて下さい。その際、工具が回らなくなるまで締め付け後、工具を外して 90° ずらした位置に取り付け、増し締めを行って下さい。又、手締めだけでフランジ面に接触する場合があっても、必ず工具を使用して、強く締め付けて下さい。



- ☆ 締め付け後、袋ナットを逆回しにして袋ナットが戻らないことを確認して下さい。
- ☆ フィッチングの状態で納入される場合、附属品によっては仕様上サンフレキ ROBO の袋ナットが固定されていないことがあります。この場合附属品を機器にねじ込んだ後に、袋ナットを工具で締め付けて下さい。

8. その他

- ☆ 機器の振動など袋ナットやロックナットが緩むことがあらかじめ予想される場合は、次の対策をご検討願います。
 - (1) ねじ部には、緩み防止用のボンド（スリーボンド製 #1401 を推奨）を塗布する。